



▼高崎健太郎さんからの寄附金を奥名町長に手渡す父の学さん（左）



## 町の発展や教育振興に

高崎健太郎さん（元横浜 DeNA）が寄附

1月9日（木）、本町出身の元プロ野球選手・高崎健太郎さん（八丁区出身・元横浜 DeNA ベイスターズ投手）が町へ寄附金を寄贈されました。

高崎さんは、平成19年に横浜ベイスターズに入団し、投手として11年間活躍。横浜 DeNA ベイスターズとなって最初の開幕投手を務めるなど、通算25勝を挙げ、平成29年に現役を引退されました。現在は、同球団の職員として活躍されています。

代理で訪問した父の学さん（八丁区）は、「町の発展や教育振興のため、図書室の書籍の充実などに使っていただけではありません」と奥名克美町長に目録を手渡しました。

高崎さんは、平成24年から毎年、チャリティコンプレックスの収益金を本町に寄附いただいております。町生涯学習センター・図書室には、高崎さんからの寄附本コーナーが設置されています。

## 国指定史跡化を目指す「陣ノ内城」

第19回『新甲佐町史』歴史研修会

令和元年12月22日（日）町生涯学習センターで、第19回『新甲佐町史』歴史研修会が開催されました。

同研修会は、本町の今と昔を考え成り立ちを追うことを目的に町教育委員会が主催。

今回は「戦国時代の甲佐と陣ノ内城跡」と題して、熊本大学永青文庫研究センター長で陣ノ内館跡調査専門委員の稲葉継陽さんが講演。55人が受講し、これまでの調査結果から「陣ノ内城」として国指定史跡への登録を目指す陣ノ内館跡について学びました。



▲戦国時代の陣ノ内城について説明する稲葉さん



◀白旗小児童からお米を受け取る児成さん（右）

## 手作りのお米とメッセージで励まし

白旗小児童が仮設住宅入居者などを訪問

令和元年12月19日（木）白旗仮設団地などで、白旗小学校（前川和宏校長 112人）の5年生が白旗仮設団地や白旗地区災害公営住宅などの入居者へお米を贈呈しました。

同小の災害復興プロジェクトの一環で、被災者を励まそうと毎年実施。上益城農業協同組合などの協力で児童たちが収穫したお米に、手書きの応援メッセージを添えて手渡しました。

お米を受け取った児成豊さん（府領区）は「おいしくいただきます」と笑顔で話しました。

1月27日現在、町内の16世帯が仮設住宅での生活を続けられています。

## 田上美悠選手(上早川二区)が選出

### 第37回熊日都市対抗女子駅伝

1月26日(日)第37回熊日都市対抗女子駅伝が開催されました。

熊本陸上競技協会などが主催する同大会は、県内の19郡市が出場。熊本市中央区のびぶれす熊日会館前を発着し同市東区戸島町を折り返す7区間28キロでレースが行われました。

4区に選出された田上美悠選手(上早川二区・開新高1年)は怪我の影響で出場を断念。「出場できず残念でしたが、来年も代表入りしてチームに貢献できるようがんばりたいです」と決意を話しました。



▲大会前日に嘉島町民会館で行われた上益城代表チームの結団式

## 2選手が全国と九州大会へ

### 山下選手(中横田区・サッカー)と作本選手(吉田区・ボクシング)



▲全国高校サッカー選手権大会に参加した山下選手(左)と全九州アンダージュニアボクシング選考会に出場した作本選手



▲税金について意見を発表する白旗小児童ら

## 白旗小6年生が税について考える

### 令和元年度租税教育

1月17日(金)白旗小学校(前川和宏校長112人)で、租税教室が行われ、同小6年生20人が税について学習しました。町や熊本県租税教育推進協議会(古閑陽一会長)などでは、次代を担う児童に『税金がなければ、みんなが困ってしまうから、みんなで負担するものなんだ』という意識を持ってもらうため、租税教育を行っています。町税務課の久米住民税係長が講師を務め、「なぜ税金が必要か」「税金が社会のためにどのように使われているか」などをわかりやすく解説。児童らは、クイズなどを通して税の役割についての理解を深めました。

町内の2選手が、全国大会と九州大会に参加しました。

令和元年12月30日(月)～令和2年1月13日(月)、東京都などで開催された第98回全国高校サッカー選手権大会に、山下優心選手(国府高校3年・中横田区)が控え選手として参加しました。

山下選手は大会を振り返って「残念ながら出場機会はありませんでしたが、最後まで試合をあきらめない仲間の姿をベンチから見て、自分にできることを精一杯やろうと心掛けました。たくさんの人に支えられて全国大会まで来られたことに感謝しています」と話しました。

また、1月18日(土)・19日(日)大分県で開催された第9回全九州アンダージュニアボクシング選考会に、作本龍治選手(甲佐中3年・吉田区)が出場しました。

作本選手は、「納得のいかない結果に終わってしまいましたが、高校入学後すぐにある新人戦で勝利できるよう毎日の練習を欠かさずにがんばっていきたいです」と決意を語りました。